

2 専門家の評価の概要【資料3】

(1) 空気調査結果

建物1階部分、屋外、地下ピット内のいずれの空気についても、前回の調査結果（12月25日公表）と同様に、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

(2) 地下水質調査結果

前回の調査結果（12月25日公表）と比べ、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

3 豊洲市場の安全・安心について

都は、平成29年7月に「無害化に代わる新たな方針」を定め、安全で安心な市場の実現に向け、専門的、科学的で妥当な対策を講じることで、地上の安全に万全を期すとともに、正確な情報発信を通じて、都民の理解と納得を求めていくこととしている。

今後とも地下水管理システムによる地下水の揚水を継続するとともに、空気調査、地下水質調査といったモニタリングを継続し、正確な情報をわかりやすく公表していくことで、豊洲市場を安全・安心な市場として運営していく。